



社会医療法人智徳会

未来の風せいわ病院

地域医療連携室ニュースレター

No.28 令和2年7月発行
〒020-0401
盛岡市手代森9-70-1
電話番号 019-696-2055
FAX 番号 019-696-4185

ごあいさつ



事務部長
永井 亮

平素より、各関係機関の皆さまには当院の運営につきましてご協力とご理解を頂いておりますことに、あらためて感謝を申し上げます。

皆さまからのお力添えをいただいたおかげで、地域医療連携室の昨年令和元年度の相談件数は815件、新患の総数は557件となりました。本当にありがとうございました。

さて、年明けの1月16日に日本国内で初めて感染が報告されて以降、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、私たちの生活や仕事の様式は大きく変化をいたしました。

感染拡大防止策としての「3密（密閉・密集・密接）の回避」「ソーシャルディスタンスの確保」の実施により、リモート会議や電話等によつての意見交換、対応策の検討をせざるを得ない環境になりました。今後コロナが落ち着いてもこの新しい様式は引き続き取り入れられていくものと推測されます。ただ、当室の本来の活動としては、やはり利用者さまや関係機関の皆さまと直接お会いして、その様子や表情、思いを感じながら対応策を練っていくことであることを考えますと、皆さま方のご協力に十分にお応えできていないのではと大変申し訳なく思っているところです。

岩手県内では幸いにも現時点でコロナ感染は確認されておりません。しかしながら皆さまにおかれましても「発生することは必然」との前提でいろいろな対策を施していることと思います。太平洋戦争開戦以来80年ぶりに発令された緊急事態宣言は解除されましたが、オリンピック、パラリンピックなどほとんどの大きなイベントが延期・中止になるような大変な環境の中、今の状況下でできることを真摯に行なっていくよう職員一同頑張っておりますので、引き続きのご協力をお願いいたします。合わせてこの新型コロナウイルスが1日も早く落ち着きますことを願って止みません。

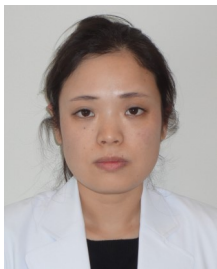
基本理念

すべてのひとがいいききと自分らしく生きていける地域社会づくり

8つの基本指針

1. 私たちは、常に笑顔絶やさずことなく最高のサービスを提供します
2. 私たちは、「ひとの心の痛みに涙する」温かく深い人間性と豊かな感性を磨きます
3. 私たちは、いのちの尊厳と基本的人権を尊重します
4. 私たちは、社会的使命をもってよりよい地域社会づくりに努めます
5. 私たちは、職業人として技術と資質の向上に努めます
6. 私たちは、よりよい職場づくりのために対話と相互理解に努めます
7. 私たちは、共に働く仲間たちに感謝し、自らの仕事に誇りを持って働きます
8. 私たちは、高い志をもち、我が国を代表する病院・施設づくりに努めます

ごあいさつ



医師
伊藤 亜記子

5月から常勤になりました伊藤です。盛岡出身で以前は国立花巻病院に勤めていました。

今日に至るまでたくさんの御配慮を頂き誠にありがとうございました。お蔭様で長男を出産し、現在では1歳8ヵ月となりすくすくと育っています。

仕事と家庭育児の両立は大変なこともあります。子育てを通し精神科医として学ぶことも多いと感じています。今後、上手く両立を図りながら、少しでもお役に立てるよう努めて参りたいと思います。ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますがどうぞ宜しくお願いします。

トピックス

今回は、臨床薬剤科、外来のご紹介です。

■臨床薬剤科



臨床薬剤科科長
高屋敷 一也

臨床薬剤科は2年前の2018年4月に新設された部署です。現在、薬剤師部門は2科体制になっているのですが、そのような病院は全国的にも珍しいようです。そのように至った背景の一つにはチーム医療の推進があり、当院においても薬剤師に調剤以外のニーズが高まったからです。臨床薬剤科には私を含め3名の薬剤師が在籍しておりますが主に入院患者様に関する業務と、第1・第3土曜日の外来を担当しております。患者様と直接お話しする中でその思いに耳を傾け、最善の薬物療法を提供できるように主治医をはじめ様々な職種のスタッフとコミュニケーションを取る場面が増えてきております。ありがたいことに医師から処方相談をされることも日常的となりました。また、処方変更があればできるだけ患者様や看護師などのスタッフに着目してほしいポイントを伝え、安心してお薬と付き合っていけるようなお手伝いができればと考えながら日々働いております。そうすることで自然と「薬剤師さん」ではなく「〇〇さん」と名前と呼んでいただけるのかなと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

■外来



外来師長
森田 真由美

令和2年4月より外来師長として配属となりました森田と申します。

当院外来は看護師8名、クラーク2名で様々な精神科疾患を持つ患者様に対応させていただいております。初診時には多くの不安を抱えて来院されていると思いますので、お悩みや困りごとなどが話しやすいように環境を整えながら対応していきたいと考えています。

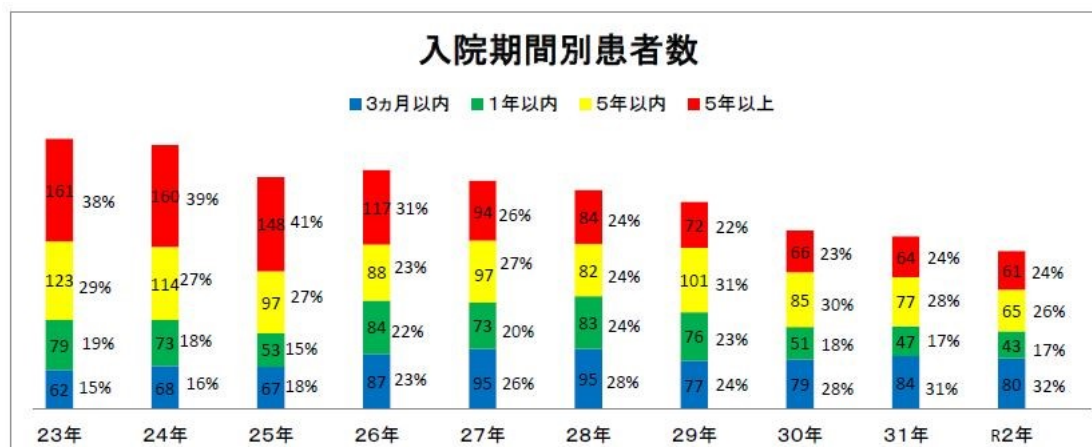
今年度は新型コロナウイルス感染症の対策をとらせていただきながらの対応となり、皆様にはご不便やご迷惑をおかけしていることも多々あるかとは思いますが、患者様の健康を守るため関係各所の皆様にはご協力をよろしくお願い致します。



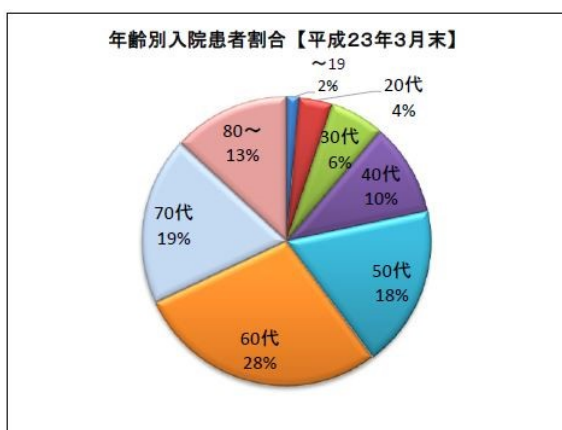
～外来スタッフ～

地域移行状況と評価

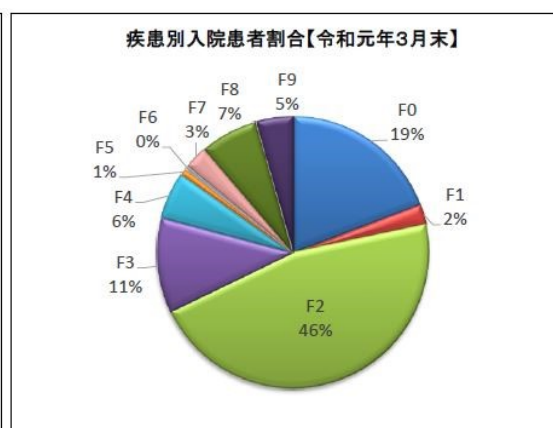
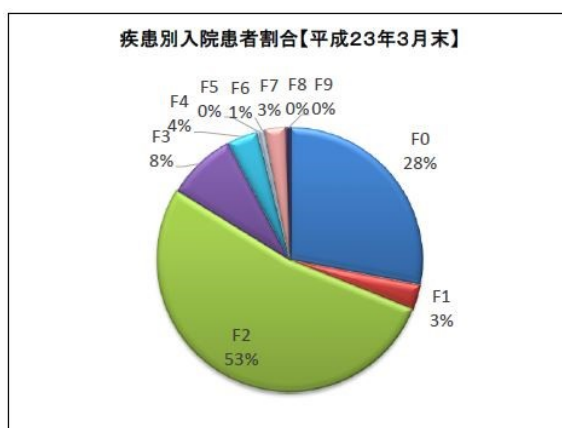
平成24年11月に新病棟・新病院名に生まれ変わり、病床数の減少、病棟の機能分化を進めて参りました。平成25年は精神科急性期治療病棟・精神療養病棟、平成28年は精神科救急病棟・地域移行機能強化病棟を開始しております。



この10年間で、入院期間5年以上の入院患者数は100名（14％）減少、3ヵ月末満の入院患者数は18名（17％）増加しました。



年齢別患者数は、10代20代の方が増加しました。



- F0：症状性を含む器質性精神障がい（認知症、脳梗塞後遺症、てんかん等）
- F1：精神作用物質使用による精神及び行動の障がい（アルコール依存症、薬物依存症等）
- F2：統合失調症、統合失調症型障がい及び妄想性障がい（統合失調症等）
- F3：気分（感情）障がい（躁鬱病等）
- F4：神経症性障がい、ストレス関連障がい及び身体表現性障がい（心因反応、ヒステリー、神経症、適応障がい等）
- F5：生理的障がい及び身体的要因に関連した行動症候群（摂食障がい、睡眠障がい、産褥精神病等）
- F6：成人の人格及び行動の障がい（人格障がい、行動障がい等）
- F7：精神遅滞
- F8：心理的発達障がい（発達障がい、学習障がい等）
- F9：小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障がい（多動性障がい、行為障がい、情緒障がい等）

疾患別においても、多様化する精神科医療に対応して参ります。

～新規の受診・入院相談～

019-696-2055 にお電話下さい。

相談時間 平日：9:00～16:00

FAX:019-696-4185

初診・再診の予約制を実施しております。電話対応した事務員に地域医療連携室とご指名ください。はじめての受診・入院相談を地域医療連携室がお受けいたします。受診の際には、下記URLから患者紹介FAX申込書を別途ダウンロードしてお使いください。

URL：<https://mirai-seiwa.com/chiikiiryorenkei/iryokikan>

外来担当医

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
新患担当	佐藤医師	八重樫医師 伊藤医師	田嶋医師	佐々木医師 菊地医師 鈴木医師	遠藤医師	再診のみ 第1・第3 佐々木医師 第2・第4 田嶋医師
再診担当	菊地医師 鈴木医師	田嶋医師 智田医師 佐藤医師	佐々木医師 遠藤医師	智田医師	八重樫医師	第2・第4・第5 遠藤医師

診療時間

月曜日～金曜日	8:30～17:00
土曜日	8:30～12:00
休日	日曜・祝日・お盆(8/14～16)・年末年始(12/29～1/3)

病院へのアクセス



社会医療法人智徳会

未来の風せいわ病院

〒020-0401 岩手県盛岡市手代森9-70-1

TEL：019-696-2055(代)

FAX：019-696-4185

<https://mirai-seiwa.com>

バス

●長岡線・日詰駅前行き

盛岡駅（5番）発又は盛岡バスセンター（アレヴェール）より乗車、手代森ニュータウン北口降車（約20分）バス停より徒歩5分

●日赤経由・ふれあいランド経由川久保線、乙部線手代森ニュータウン南口行き又は乙部行き

盛岡駅（5番）発盛岡バスセンター（アレヴェール）経由、手代森ニュータウン北口降車（約20分）バス停より徒歩5分

●中央線・都南の園営業所行き

盛岡駅（5番）発盛岡バスセンター（アレヴェール）経由、手代森ニュータウン入口降車（約30分）バス停より徒歩3分



車

●盛岡駅から車で20分

（国道4号・396号経由 都南大橋過ぎセブンイレブン左折後、500m左側）

●東北自動車道 盛岡南ICから車で15分

（県道36号・国道396号経由 同上）

※無料駐車場完備